

赤崎区・四浦1区

津久見市 高潮ハザードマップ

この高潮ハザードマップは、水防法第14条の3に基づく想定最大規模の高潮浸水想定区域と避難所などを掲載したものです。
想定最大規模とは、昭和9年の室戸台風級（我が国既往最大規模、中心気圧900hpa）の台風襲来と満潮が重なった場合を想定しています。
この高潮ハザードマップで示している高潮浸水想定区域以外でも浸水する可能性があります。また、実際の浸水深は高潮浸水想定区域よりも深くなる場合があります。
これはあくまでも予測であり、すばやく避難所へ避難して下さい。

令和4年3月作製

わが家の避難場所は、

凡 例



この浸水深の表示は、一般的な家屋を標準としており、全ての家屋に適用するものではありません。

要配慮者利用施設

社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する方が利用する施設



避難場所 / 避難所一覧



指定緊急避難場所

危険から身を守る場所

切迫した災害の危険から命を守るために、緊急的に避難する場所



指定避難所

自宅が被災したときに滞在する場所

災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所

地区名	種別	避難場所 / 避難所の名称
赤崎区		おかみ
		屋敷跡
		地蔵奥(墓地)
		オハネ
		豆ノ浦
四浦2区		久保泊
		四浦江ノ浦越
		荒代中道
		荒代八重石
		荒代開
		荒代十郎(2ヶ所)
		鳩浦段原 1
		鳩浦段原 2
		鳩浦河内奥
		鳩浦小浦道
		鳩浦こころ

※指定緊急避難場所や指定避難所は、必ずしもそこに避難しなくてはならないというものではありません。
※避難場所の周辺や道路などが冠水しているような場合は、身近な高いところに避難してください。

避難するときの注意点

命を守る行動を！

危険な状況での避難はできるだけ遅く、安全の確保を第一に考えましょう。危険が迫っている場合は、指定された避難場所への避難（水平避難）だけでなく、命を守る行動が必要な避難（垂直避難）があります。

○水平避難



○垂直避難



■垂直避難とは
自宅や近隣の2階以上の建物の上階に一時的に避難することです。水平避難が困難で、かつ浸水による建物倒壊がないと判断される場合には、垂直避難で救助を待つことも検討してください。

＜垂直避難を検討する条件の例＞
・夜間などで避難路上の危険箇所が分かりにくい。
・むざよ（50cm以上）まで浸水している。
・浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

安全に避難するために

動きやすく安全な服装で

持ち物はリュックで、手は自由に、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。



隣近所で声をかけ合って

避難するときは2人以上で、隣近所への声かけをしましょう。



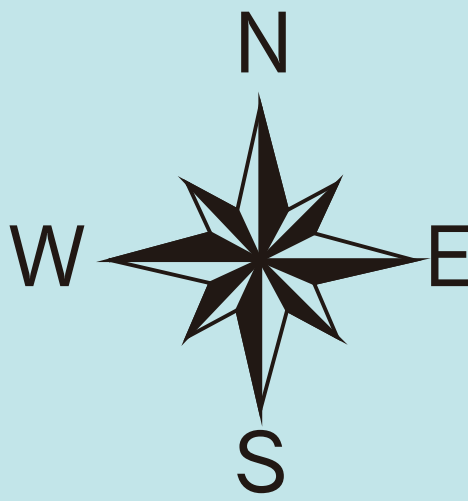
車は使わない

車は数十センチの浸水で浮いてしまいます。避難するときは車は使わず歩いて避難しましょう。



マンホールや側溝に注意

洪水の水は茶色く濁っており、水路と道路の境やふたが隠れているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。



津久見湾



1 : 6000

250 125 0 250 500m